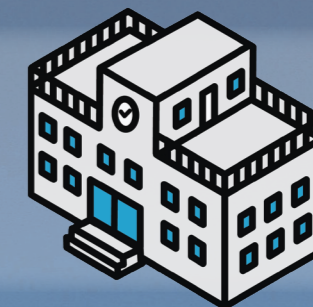


学校・地域・家庭の より一層の連携を目指して

市では、関係機関と学校、地域、家庭がより一層連携して子どもたちを育てることが大切だと考えています。

今回は、学校運営協議会やまちづくり推進協議会と積極的に連携している学校の事例を紹介します。

問合せ 学校教育課 ☎32-1438



地域とともにある学校づくり ～地域との関わりを大切にした教育活動を通して～

大里東中学校では、保護者や地域住民などが学校運営協議会*の中で、「学校を核とした地域の絆づくり」の在り方を検討してきました。そして、生徒会主催の「あいさつ運動」を中心に、「地域の方とともに活動する取り組み」「地域のために活動する取り組み」「地域の方から学ぶ取り組み」の3つの柱で実践しています。

※保護者や地域住民などが参加し、学校運営に関して協議する仕組み

地域の方とともに活動する取り組み

●あいさつ運動

まちづくり推進協議会、稲沢市社会福祉協議会の協力のもと、小学生の下校時に通学路に立ち、学期に1回あいさつ運動を実施しています。



地域のために活動する取り組み

●地域の夏祭りへの参加

生徒がボランティアとして準備などに関わったり、ブラスバンド部が地域の方に演奏を披露したりしています。



地域の方から学ぶ取り組み

●環境委員会活動支援

学校の環境美化運動として、地域の方から花の植え方について生徒が講義を受け、花壇づくりに取り組みました。



●先輩から学ぶ会

大学生や社会人になった卒業生から、進路選択時に考えたことや中学時代にやっておくとよいことなどを3年生が学びました。



子どもたちの成長を地域で支える ～まちづくり推進協議会との連携を通して～

祖父江小学校では、祖父江小学校区のまちづくり推進協議会が、主体的に学校やPTAと連携を図りながら、地域の子どもの安心・安全を守る活動や子どもたちとともに地域の環境を整備する活動に取り組んでいます。



防犯あいさつ運動に取り組んでいる方の声

子どもたちが安全に登下校できるように付き添ったり、危険な場所で立ち番をしたりする見守り活動に取り組んでいます。ただ見守るだけでなく、元気な声で子どもたちに、「おはよう」「さようなら」とあいさつをしています。

あいさつは、人と人をつなぐ大切なものです。また、あいさつが子どもの防犯対策になると考えています。

交通安全教室に参加した方の声

警察署の方から登下校における安全な歩き方を学ぶ、交通安全教室が行われています。

まちづくり推進協議会も教室に参加し、子どもたちと一緒に学んだり、直接子どもたちにアドバイスしたりすることで、登下校での安全につながっていると思います。



地域清掃活動に関わっている方の声

子どもたちや保護者とともに、通学班の集合場所や通学路のごみ拾いをしています。自分たちの手で地域をきれいにすることで、喜びや達成感を得られます。また、きれいな状態を保つことで、ごみのポイ捨て予防にもなります。

この活動を通して、環境に対する意識や地域を愛する心を育ててほしいです。



地域と学校や家庭が子どもたちを中心に関わっていくことは、子どもたちの健全な成長を促すとともに、地域の活性化にもつながると考えています。今後も積極的に連携を深め、より良い子育て・教育を進めていきます。